

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証願います(提出期限 8月8日(火))。検証は法人ごとに行うもので、法人間の比較を行うものではありません。 委員氏名 [ ]

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

4 ブロック : 2-1-1 効果的な組織体制の確立 ~ 2-2-3 費用の削減

2-1-1 効果的な組織体制の確立

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院							
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価					
<p><b>項目番号 19</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な診療体制づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、当センターが有する各種機能が最大限に発揮できる組織体制の充実を図る。</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> 人事給与システム、旅費システム等の機能の見直しを随時実施し、効率的な事務環境をつくりあげていく。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> 新たなアウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用することで、質の高い業務執行を推進する。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> 危機管理事案発生時において、情報を収集・共有し、関係機関へ提供できる体制を整備し、職員への周知を図る。</p>	<p>III</p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> ・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 医療クラーク : H27:53 人 → H28:54 人</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> ・ASP サービス (Application Service Provider Service : インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス) による人事・給与システムを活用し、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図った。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> ・庁舎管理部門 (設備管理、清掃、防災他) や医業部門 (給食、医事業務、洗濯業務他) の専門的機能を有する部門について、アウトソーシングを導入しており、特に情報システム関連業務、SPD 業務契約において、質・量の見直しを行い経費の節減に努めた。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し (H28.11.4 開催)、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行った。</p>	<p>III</p> <p><b>項目番号 17</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> ・事務局に新たに管理課を配置し経営基盤の強化と、組織のより効率的な機能充実を図る。</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> ・職員向けのIT研修を実施し、各種業務のIT化に順応できるよう個々の職員のスキルアップを図る。</p> <p>・電子カルテを中心とする医療総合情報システムについて、ハード・ソフトの両面から改修を行い、ユーザーの操作性を向上させる。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入などによる合理化</b> ・材料消費データの精緻化に向け、物流管理システム (SPD) との調整を行うとともに、必要データの提供及び検証方法などについてのアウトソーシング活用を進める。 ・各種業務の合理化を目的に、「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用するなどアウトソーシングの導入または見直しを検討し、業務のスリム化を図る。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・「病院経営に関するコンサルタント業務」を引き続き活用し、費用の節減を図る。 ・平成27年度に構築した委託業務評価システムを推進し、業務委託の改善、向上を図る。 ・職員の診療情報管理士など経営に関する資格取得や、経営企画能力の向上のための研修会などの参加促進を支援する。 ・再雇用制度等を推進し、有能な人材の確保に努める。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・危機管理事案発生時に警察、消防、保健所等と迅速に情報共有できるように体制構築を進める。 ・昨年度に引き続き緊急連絡システム配信試験を行い、緊急連絡網の見直し、充実を図る。</p>	<p>III</p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> ・管理課の設置、経営企画課を企画財務課に改編し、組織・業務体制の見直しを行った。 ※平成29年度に管理課と企画財務課の業務見直しにより用度システム管理室、施設整備課、企画財務課に改編</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> ・Microsoft Office や携帯情報端末などのIT研修会を年8回実施し、職員のスキルアップを促進した。また、医療総合情報システムのプログラム改修やスマートメディア端末の導入により、操作性や利便性を向上させた。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入などによる合理化</b> ・栄養管理部の業務合理化 (栄養指導業務等に専念できる体制強化) のため、患者給食業務の全面委託 (単価契約) を決定した。プロポーザル方式により業者を選定し、平成29年度からの業務開始に向けて委託契約を締結した。 ・中央材料室等管理業務委託を委託業務評価の対象とし、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。 ※平成27年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・緊急連絡システム配信試験を2回実施し、職員の安否確認訓練を行った。返信率、登録率が向上した。</p>	<p>III</p> <p><b>項目番号 16</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 理事長と院長の兼務を解消し、その職務と権限を明確化することにより、効率的な病院管理を行うとともに、経営改善に努力していく。また当院の理念を職員全員が理解し、その実現に向けて組織的に取り組むため、次のとおり職種間のコミュニケーションや相互連携を深める。 ・幹部会を活用し、組織の意志を明確にするとともに、管理会議等で情報共有を図る。 ・職員一人ひとりが医療スタッフ毎の役割と義務を自覚し、職務に取り組む</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどITを活用した各種事務合理化を進める。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> 定期的な業務についてはアウトソーシングの導入を検討する。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の充実</b> 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を充実するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員については定年延長や再雇用に努める。さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用する。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> 危機管理事案発生時には、病院全体で対応できるように、幹部会などを活用した速やかな情報共有体制の構築を図るとともに、関係機関への適切な情報提供を行う。</p>	<p>III</p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 引き続き経営企画部門を中心に病院の経営分析・改善等に努め、医師確保・病院経営改善等に取り組んだ。</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を進めた。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討したほか、外部に委託した全ての委託事業について見直しを行った。 【業務委託件数】</p> <table border="1"> <tr> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>74件</td> <td>72件</td> <td>74件</td> </tr> </table> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の充実</b> ・毎月最終木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。必要に応じて行われる労使間の協議会や意見交換会で交わされた業務や経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い職場づくりに努めた。 【労使協議会回数】13回 ・27年度末で定年となる職員について、本人の勤務評価・能力等を考慮した上で、病院経営に寄与すると認められる職員の定年延長 (技師長2名) や非常勤専門職としての再雇用 (看護師1名、コメディカル1名) を行い、引き続き雇用した。 ・月次決算状況を理事長に提出する際、月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制に努めた。 ・平成27年度に締結したユニオンジョブ協定により、組織率を高めるなど、労使が一体となり職場環境の改善を図る体制が構築された。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・毎朝行う幹部会において、危機管理事案の報告と併せて対策を講じるとともに、管理会議において情報共有を行った。 ・また、職員への暴力・暴言等対応マニュアルを、下呂警察署監修の下に策定し、緊急時の対応の統一を図るとともに、不審者に対する対応についての研修を行った。【再掲 02】</p>	26年度	27年度	28年度	74件	72件	74件
26年度	27年度	28年度									
74件	72件	74件									
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果						

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																												
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																																										
<p><b>項目番号 20</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b> 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医師事務作業補助職員：53人（平成27年度）→55人、看護事務補助職員：31人（平成27年度）→31人）の強化及び充実を図る。</p> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b> 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p><b>1 弾力的運用の実施</b> 平成28年度、診療部門に小児感染症内科、小児麻酔科、産科麻酔科、緩和ケアセンターを設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p> <p>○医師・看護師事務作業補助者数（年度末現在） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b> 人事交流により、人材活用を図る仕組みはあるものの、平成28年度は対象となる職種・人材がなかった。</p> <p>○職員他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>0(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）は助産師数</p>	項目/年度	H26	H27	H28	医療クラーク	52	53	54	看護クラーク	30	28	29	合計	82	81	83	項目/年度	H26	H27	H28	コメディカル	2	0	0	項目/年度	H26	H27	H28	看護師	0(1)	0	0	コメディカル	1	0	0	合計	1(1)	0	0	III	<p><b>項目番号 18</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b> 各診療部門の状況や患者動向の変化に迅速に対応できるよう、医師、看護師、臨床心理士等の人事配置で弾力的な運用を行う。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 医師事務作業補助者の弾力的な配置や業務のフォローアップ体制を強化し、さらなる医師の負担軽減を図る。 病棟・外来看護事務補助者、看護補助者の強化により、看護師の負担軽減を図る。 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの普及や運用の推進を継続する。</p> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b> 適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師、といった医療技術職員を相互に派遣し、各地域における医療サービスの水準を維持する。</p>	<p><b>1 弾力的運用の実施</b> 麻酔科医の大幅な減員に伴って困難となった緊急手術や救命救急センター当直について、各診療科医師の多大な協力による弾力的運用により業務体制を維持し得た。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 医師事務作業補助者43人を3つのグループに分け、グループごとにフォローアップする体制を構築した。医師事務補助体制15対1を継続して充足することができ、質の高い医療の提供を維持できている。</p> <p>【研修の実施】 ① 日本医師事務作業補助研究会への参加（13人） 学習した内容は、資料の閲覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック ② 院内研修会の開催（45回） ③ 新規採用者に35時間の研修を実施</p> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b> 医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。</p>	III	<p><b>項目番号 17</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b> 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行う。 また、病棟薬剤業務実施加算の取得に向けて、薬剤師の確保に努め、マニュアルや業務の具体的内容等を整備するとともに、薬剤師の病棟配置について検討を行う。 その他、障害者雇用に努め、適切な職員配置を促進する。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 職種の特殊性に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。 また、各医療現場のニーズにあった適正な人材確保に努める。 医師事務作業補助者の業務の質の向上、病棟事務補助者の設置に努める。</p>	<p><b>1 弾力的運用の実施</b> ○柔軟な勤務配置 看護部では、状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の周知を行っている。 業務量の多い時間帯に人員配置ができるよう病院規程中の勤務時間パターンを増やし、患者の特徴にあわせて配置を行った。（食事介助の必要な患者が多い場合遅出の人数を増やす、手術開始時間が遅い場合遅出で対応等業務量の多い時間帯へ流動的に対応するなど）</p> <p>【全部署からの支援時間数】 単位：時間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3982.5</td> <td>3889.5</td> <td>3711</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病棟薬剤業務実施加算(●) 薬剤師に係る欠員充当が実施できず、加算の取得には至っていない。薬剤師の担当を病棟毎に貼り付け、業務の試行を行うことにより実績づくりを進めている。欠員を充当し、加算を取得することを目指す。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】 ○看護部では看護協会WLB（仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み）の推進を受けて働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週30時間・週35時間勤務の非常勤職員も休日を含めた早出・遅出勤務を行うことで効率的な7：1看護体制の維持に取り組んだ。 またこれらの取組により、H28.5に日本看護協会から「看護職のWLB推進カンゴサルス賞」を受賞した。</p> <p>○医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。 ・医師事務作業補助体制加算(40対1)</p> <p>○医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化 ・平成27年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化することにより、効率的な業務遂行を図っている。</p> <p>【医師事務作業補助者数ほか】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>医療サービス業務専門職</td> <td>7名</td> <td>19名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度3.31時点</p>	26年度	27年度	28年度	3982.5	3889.5	3711	職種	26年度	27年度	28年度	医師事務作業補助者	6名	6名	6名	医療サービス業務専門職	7名	19名	20名	III
項目/年度	H26	H27	H28																																																															
医療クラーク	52	53	54																																																															
看護クラーク	30	28	29																																																															
合計	82	81	83																																																															
項目/年度	H26	H27	H28																																																															
コメディカル	2	0	0																																																															
項目/年度	H26	H27	H28																																																															
看護師	0(1)	0	0																																																															
コメディカル	1	0	0																																																															
合計	1(1)	0	0																																																															
26年度	27年度	28年度																																																																
3982.5	3889.5	3711																																																																
職種	26年度	27年度	28年度																																																															
医師事務作業補助者	6名	6名	6名																																																															
医療サービス業務専門職	7名	19名	20名																																																															

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																										
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																								
						<p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院との間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。</p> <p>今年度も引き続き、職種又は職位によって発生する人員の過不足に対処するため、3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を維持する。</p>	<p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <p>平成 27・28 年度においては人事交流は行っていないものの、平成 29 年度から岐阜県総合医療センターへの出向を行うため、必要な調整を行った。引き続き必要に応じて3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を向上する。</p> <p>【他法人からの受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2 名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【他法人への出向状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>1 名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1 名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	26 年度	27 年度	28 年度	薬剤師	2 名	-	-	検査技師	-	-	-	臨床工学技士	-	-	-	計	2 名	0 名	0 名	職種	26 年度	27 年度	28 年度	看護師	-	-	-	助産師	1 名	-	-	薬剤師	1 名	-	-	計	2 名	0 名	0 名	
職種	26 年度	27 年度	28 年度																																													
薬剤師	2 名	-	-																																													
検査技師	-	-	-																																													
臨床工学技士	-	-	-																																													
計	2 名	0 名	0 名																																													
職種	26 年度	27 年度	28 年度																																													
看護師	-	-	-																																													
助産師	1 名	-	-																																													
薬剤師	1 名	-	-																																													
計	2 名	0 名	0 名																																													
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																																									

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-3 人事評価システムの構築

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価
			<p><b>項目番号 19</b></p> <p>1 人事評価システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度までに試行した人事評価システムを本格実施するとともに、平成 29 年度に新設される目標管理、業務貢献手当と関連付け、評価制度の一部見直しを行った。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 18</b></p> <p>職員の実績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成及び人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p>	<p><b>○人事評価システムの構築</b></p> <p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成 27 年度に引き続き導入に向けた検討を行うとともに、平成 28 年度において、事務局非常勤職員に対する人事評価の本格施行、事務局常勤職員に対する試行（年度後半）を行った。また、職員の実績や資格等に対しても、再評価し、特別昇給により職員のモチベーションが下がらないように行った。</p> <p>看護部においては、引き続きクリニカルリーダー評価により昇格・昇任特別昇給を実施した。また非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後、師長・部長等面接を行うことにより、勤労意欲向上に努めた。組織が望む能力を示したことで各自振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>	IV	
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-4 事務部門の専門性の向上

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																	
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																															
<p><b>項目番号 21</b></p> <p>経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の医事業務や診療情報分析、病院経営に係る財務経営分析、危機管理等専門性の高い業務に関する研修等に参加し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を育成する。</p>	<p><b>事務部門の専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用（3人）した。</li> <li>経営状況の分析を行うことで収益体質の向上や効率的な経営に取り組み、収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、職務に関連する研修への参加を支援した。</li> </ul> <p>○事務職員の状況（年度末現在）</p> <p style="text-align: right;">単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>41</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53</td> <td>64</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	プロパー職員	41	53	54	県派遣職員	12	11	9	合計	53	64	63	III	<p><b>項目番号 20</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、病院経営等に精通した外部人材の確保（経験者採用）に引き続き取り組む。</li> <li>新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。</li> <li>診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を支援する。</li> <li>DPCコーディング業務について、職員のさらなる能力向上を図る。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 19</b></p> <p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となる職員を計画的に確保するとともに、職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。また、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。事務部門における診療部門の支援・強化を図るため、事務職員の診療情報管理士及び医療情報技師の資格取得を支援する。</p>	III	<p><b>事務部門の専門性の向上</b></p> <p>【医事課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国がん登録研修会 2名</li> <li>接遇トレーナー養成研修 1名</li> <li>診療情報管理士資格取得に向けた通信教育受講 2名</li> <li>診療報酬管理研修会 1名</li> </ul> <p>【総務課・経営企画課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BCP策定支援セミナー（県 BCP 研修訓練 C） 2名</li> <li>消費税実務セミナー（全国経営協会） 1名</li> <li>全国医事研究会セミナー 1名</li> <li>情報セキュリティ研修（岐阜県主催） 2名</li> <li>医療情報システム安全管理セミナー（厚生労働省） 1名</li> <li>ホームページのバリアフリー化講習会（総務省） 1名</li> <li>セキュリティレベルアップセミナー（トヨタ・マイクロ） 1名</li> </ul> <p>【事務職員の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>16名</td> <td>19名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>9名</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25名</td> <td>27名</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度 3.31 時点</p>	区分	26年度	27年度	28年度	プロパー	16名	19名	17名	県派遣	9名	8名	8名	合計	25名	27名	25名
項目／年度	H26	H27	H28																																				
プロパー職員	41	53	54																																				
県派遣職員	12	11	9																																				
合計	53	64	63																																				
区分	26年度	27年度	28年度																																				
プロパー	16名	19名	17名																																				
県派遣	9名	8名	8名																																				
合計	25名	27名	25名																																				
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																																		

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-5 コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の徹底

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院								
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点（●）</li> </ul>	自己評価						
<p><b>項目番号 22</b></p> <p>医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程を遵守し、職員に対し定期的な意識啓発を実施する。監事監査、内部監査、監査法人監査等の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスを確実なものとする。</p> <p>岐阜県情報公開条例に基づく公文書の公開及び岐阜県個人情報保護条例その他法人規程に基づくカルテ等医療情報の開示を着実にを行い、医療の透明性を確保するとともに、医療情報提供の環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。</li> <li>平成 28 年 10 月、全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、166 人が参加した。</li> <li>監事監査、内部監査及び監査法人監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 21</b></p> <p>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監事監査、内部監査を引き続き定期的実施し、適正な業務執行の確認体制を継続する。</li> <li>コンプライアンスの体制を確立するため、就業規則や倫理規程等のパンフレットを作成し、教育研修やさまざまな会議を通じて意識啓発や周知徹底を図る。</li> <li>岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に基づきカルテ等医療情報の開示を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監事監査や内部監査による確認指導に加え、医師をはじめとした全部門において、所属長等によるコンプライアンス研修を実施した。</li> </ul> <p>【コンプライアンス研修開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.4.7 ～ H28.9.30</td> <td>各部門長 計 17 回</td> <td>641</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位：人</p>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H28.4.7 ～ H28.9.30	各部門長 計 17 回	641	III	<p><b>項目番号 20</b></p> <p>県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、医療情報の情報開示については、岐阜県個人情報保護条例及び岐阜県情報公開条例に基づき、適切に対応する。</p> <p>職員に対しては、コンプライアンスについて研修するなど意識啓発に関する取組を実施するほか、監事監査や内部監査などによる検証・評価に努める。</p>	<p>医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。</p>	III
開催期間	講師・開催回数	参加者												
H28.4.7 ～ H28.9.30	各部門長 計 17 回	641												
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果							

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-6 適切な情報管理

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価
<p><b>項目番号 23</b></p> <p>新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修も新たに実施することにより、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。</p>	<p><b>○適切な情報管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、情報ネットワークのセキュリティ対策、USB メモリ等のデバイス制御、メールのウイルスチェック等、情報セキュリティ対策を強化した。</li> <li>また、病院指定の暗号化機能付き USB メモリ配布にあわせて、全職員向け情報セキュリティ研修を実施、327名の職員が参加した。</li> </ul>	IV	<p><b>項目番号 22</b></p> <p><b>1 情報セキュリティ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員等に対する情報セキュリティの教育や啓発を定期的に行うとともに、不正プログラム・不正アクセス対策などの情報セキュリティ対策の推進及びチェック体制の確立を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員等に対する情報セキュリティ研修や、情報セキュリティチェック（チェックシートによる自己確認）を実施した。また、不正接続検知システム、端末管理システムの拡充を行った。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 21</b></p> <p>情報セキュリティ基本方針・対策基準に基づく業務の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立に努めるとともに、職員等を対象に院内研修を実施し情報セキュリティ意識の向上に取り組む。</p>	<p><b>○適切な情報管理</b></p> <p>院内の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立のため内部組織を変更し、平成 28 年度より経営企画課に情報担当を置くこととした。</p> <p>院内ネットワークの利便性及びセキュリティを向上するため、インターネット系のネットワークを業務用と公共 Wifi 用に分離し、再構築を図った。</p> <p>今後の取組予定は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産(ソフトウェアライセンス)管理</li> <li>不正プログラム対策の強化</li> <li>職員へのセキュリティ教育</li> </ul>	IV
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-1 多様な契約手法の導入

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価
<p><b>項目番号 24</b></p> <p>入札・契約については透明性・公平性を図るため、他の医療機関での取組みを調査するなど、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。</p>	<p><b>○多様な契約手法の導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数年契約等を導入し、集約化・簡素化による経費の削減を図った。</li> <li>診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。ベンチマークを活用した価格交渉の結果、保険償還価格のない約 3,800 品目において年間約 3,100 万円、保険償還のある約 7,800 品目において年間約 5,700 万円のコスト削減ができた。</li> <li>各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的管理を推進した。</li> <li>医療機器保守については、交渉等による見直しにより 11 件約 850 万円のコスト削減ができた。</li> </ul>	IV	<p><b>項目番号 23</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>契約方法の点検を行い、プロポーザルや複数年契約などの多様な契約手法についての検討を行う。</li> <li>給食業務の業務委託について、単価契約方式の導入を図る。</li> <li>院内洗濯業務は、業務委託から病院運営とし、併せて障がい者雇用を進める。</li> <li>高度医療機器において購入後のメンテナンス費用も含めた契約など、仕様を含めた契約方法についての検討を行う。</li> <li>引き続き「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用することにより 効果的な契約方法や費用の妥当性についての情報収集及び検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「患者給食業務」「新中央診療棟整備基本計画策定支援業務」などの業務委託について、複数年契約やプロポーザル方式による業者選定を実施した。</li> <li>施設管理の業務委託の見直しを重点項目と位置づけ、平成 29 年度事業の契約額について対前年比 5%削減を目標に交渉を行った。エレベータの保守管理、廃棄物運搬処理等の複数の業務で目標を達成できた。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 22</b></p> <p>他の病院の取組を参考に、複数年契約や複合契約、長期継続契約などの多様な契約手法の検討、導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札及び契約方法の導入について検討を行う。</p> <p>また、既に締結した保守契約については、常に見直しを行い、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。</p> <p>薬剤・診療材料の購入にあたっては、より安価に購入するよう努める。</p>	<p><b>○多様な契約手法の導入</b></p> <p><b>【管財担当】</b></p> <p>下記の維持管理業務については、平成 27 年度から 3 年間の複数年契約を締結しており、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図るとともに、経費の節減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>警備業務、機械、監視室等安全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務</li> </ul> <p>病院及び宿舎に係る平成 29 年度分電気需給契約について、一般競争入札を実施し、各々 1 割程度の経費削減が見込まれる。</p> <p><b>【用度担当】</b></p> <p>医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、各部門長及び実施業者と業務内容の精査とその必要性を協議し、複数年契約業務を含めて内容を見直し、大幅な経費の削減を図った。</p> <p>今後、見直しによる大幅な修繕費の増加、また業務への影響が考えられるため、見直し経過後の実績と成果を比較・分析評価し、今後の方針を決定する必要がある。</p> <p><b>【医事課】</b></p> <p>これまで救急当直前後の業務引継ぎを委託業者に依頼していたが、当直の開始・終了時間の見直しと透析外来受付票の出力を自動化することにより、委託業務経費の削減を行った。</p>	IV
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	

単位：千円（税込）

契約額	H28	H29 (見込)	減額
電気料金	82,224	72,042	▲10,182
放射線機器保守 11 件	63,583	48,168	▲15,415
検査装置保守 7 件	8,514	1,447	▲7,067
計	154,321	121,657	▲32,664

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-2 収入の確保

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																		
H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価				<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価																																																																																																																																																																
<p><b>項目番号 25</b></p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用                      長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、あわせて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。                      また、医療機器については、開放型病床登録医師(地域開業医師)との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上に努める。</p> <p>2 未収金の発生防止対策                      診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生の未然防止を徹底する。                      また、平成23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。                      やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末から実施した債権回収業務(弁護士法人)を引き続き委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>				<p>IV</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用                      ・地域の医療機関等との連携として、共同指導や病床・設備の開放を行い病診連携を推進した。                      ・登録医からの FAX による MRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。</p> <p>○FAX による検査予約実績 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,130</td> <td>1,052</td> <td>816</td> </tr> </table> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H28/H27</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>329,128</td> <td>340,070</td> <td>333,749</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,349</td> <td>1,399</td> <td>1,373</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,940</td> <td>5,449</td> <td>5,826</td> <td>106.9%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>15,011</td> <td>16,023</td> <td>17,458</td> <td>109.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>194,126</td> <td>189,348</td> <td>189,660</td> <td>100.2%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>532</td> <td>517</td> <td>520</td> <td>100.6%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,687</td> <td>14,759</td> <td>14,802</td> <td>100.3%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>75,659</td> <td>77,948</td> <td>78,044</td> <td>100.1%</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>12.2</td> <td>11.7</td> <td>11.9</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>90.1</td> <td>87.7</td> <td>87.0</td> <td>99.2%</td> </tr> </table> <p>2 未収金の発生防止対策等                      ・医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入していく。                      ・未収金管理システムを活用し、患者個々の状況に応じた適切な対応を図る。特に未収金管理にかかる標準的な処理手順を確立し、確実な収納を進めていく。                      ・弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収に努める。</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応                      ・地域医療構想をふまえた病院の将来像についての取り組みを進める。                      ・診療報酬改定に対応した早期届出などを進めるとともに、診療収入の確保につながる検討を行う。</p>				項目/年度	H26	H27	H28	FAX 予約	1,130	1,052	816			H26	H27	H28	H28/H27	外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	98.1%	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	98.1%	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	106.9%	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	109.0%	入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	100.2%	平均患者数	人/日	532	517	520	100.6%	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	100.3%	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	100.1%	在院日数	日	12.2	11.7	11.9	101.7%	病床利用率	%	90.1	87.7	87.0	99.2%	<p>III</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進                      ・DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。                      ※ DPC機能評価係数Ⅱ                      H27 年度係数 0.0643                      H28 年度係数 0.0758</p> <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,984</td> <td>13,886</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位:人)</td> <td>171,656</td> <td>172,398</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(単位:日)</td> <td>全体 11.3 一般 10.6</td> <td>11.4 10.8</td> </tr> <tr> <td>一人当たり入院単価(単位:円)</td> <td>全体 63,511 一般 66,210</td> <td>65,152 67,672</td> </tr> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数(単位:人)</td> <td>1,191</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価(単位:円)</td> <td>15,963</td> <td>16,990</td> </tr> </table> <p>2 未収金の発生防止対策等                      ・弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。                      【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <td></td> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(単位:件)</td> <td>(単位:千円)</td> <td>(単位:件)</td> <td>(単位:千円)</td> </tr> <tr> <td>過</td> <td>483</td> <td>33,903</td> <td>422</td> <td>29,625</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>281</td> <td>17,061</td> <td>582</td> <td>22,760</td> </tr> <tr> <td>現</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>764</td> <td>50,964</td> <td>1,004</td> <td>52,385</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応                      ・施設基準要件の遵守状況の確実な把握に努め、適時適確な届出と算定による収入確保に努めた。                      ・外部機関を活用し DPC 係数、診療密度、看</p>				項目\年度	H27	H28	新規入院患者(単位:人)	13,984	13,886	延入院患者(単位:人)	171,656	172,398	平均在院日数(単位:日)	全体 11.3 一般 10.6	11.4 10.8	一人当たり入院単価(単位:円)	全体 63,511 一般 66,210	65,152 67,672	項目\年度	H27	H28	一日当たり外来患者数(単位:人)	1,191	1,119	一人当たり外来単価(単位:円)	15,963	16,990		H27		H28			件数	金額	件数	金額		(単位:件)	(単位:千円)	(単位:件)	(単位:千円)	過	483	33,903	422	29,625	年					分	281	17,061	582	22,760	現					年					分					合	764	50,964	1,004	52,385	計					<p>III</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効果的な活用                      病床稼働率については、常勤医師の確保により入院患者数の増加を目指すとともに、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理を徹底する。                      また、開放型病床の活用にも努め、地域の医療機関と共同で治療を行うことにより、病診連携の強化とともに収益確保を図る。                      医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の視点から開業医等の受託促進に努める。                      平成26年度に実施した「診療科別スループットベンチマーク報告」を活用し、診療科毎の収益改善、医療費用の効率向上や削減に向けて取り組んで行く。                      ・DPCデータ提出加算の取得によるデータ分析及び活用                      ・地域包括ケア病棟の稼働率向上と効果的な運用</p> <p>2 未収金の発生防止対策等                      未収金の発生防止対策として、患者負担分の支払相談に早期に着手し、公的制度的利用確認等による発生の未然防止に努めるほか、発生リスクの軽減を図るため、クレジットカード収納の導入等を検討していく。                      発生した未収金に対しては、必要に応じて電話催告や臨宅を実施し、分納制度等を活用するほか、回収困難な事例については、少額訴訟制度の活用を活用し、未収金回収に努力していく。                      使用料・手数料については、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定ができるよう努める。</p>			
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																																																							
FAX 予約	1,130	1,052	816																																																																																																																																																																							
		H26	H27	H28	H28/H27																																																																																																																																																																					
外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	98.1%																																																																																																																																																																				
	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	98.1%																																																																																																																																																																				
	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	106.9%																																																																																																																																																																				
	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	109.0%																																																																																																																																																																				
入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	100.2%																																																																																																																																																																				
	平均患者数	人/日	532	517	520	100.6%																																																																																																																																																																				
	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	100.3%																																																																																																																																																																				
	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	100.1%																																																																																																																																																																				
	在院日数	日	12.2	11.7	11.9	101.7%																																																																																																																																																																				
病床利用率	%	90.1	87.7	87.0	99.2%																																																																																																																																																																					
項目\年度	H27	H28																																																																																																																																																																								
新規入院患者(単位:人)	13,984	13,886																																																																																																																																																																								
延入院患者(単位:人)	171,656	172,398																																																																																																																																																																								
平均在院日数(単位:日)	全体 11.3 一般 10.6	11.4 10.8																																																																																																																																																																								
一人当たり入院単価(単位:円)	全体 63,511 一般 66,210	65,152 67,672																																																																																																																																																																								
項目\年度	H27	H28																																																																																																																																																																								
一日当たり外来患者数(単位:人)	1,191	1,119																																																																																																																																																																								
一人当たり外来単価(単位:円)	15,963	16,990																																																																																																																																																																								
	H27		H28																																																																																																																																																																							
	件数	金額	件数	金額																																																																																																																																																																						
	(単位:件)	(単位:千円)	(単位:件)	(単位:千円)																																																																																																																																																																						
過	483	33,903	422	29,625																																																																																																																																																																						
年																																																																																																																																																																										
分	281	17,061	582	22,760																																																																																																																																																																						
現																																																																																																																																																																										
年																																																																																																																																																																										
分																																																																																																																																																																										
合	764	50,964	1,004	52,385																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																										
<p>【病床利用率(新病院:26年5月分から)】</p> <table border="1"> <tr> <th>病棟</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>東3</td> <td>51.1%</td> <td>63.3%</td> <td>68.3%</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>77.1%</td> <td>77.6%</td> </tr> <tr> <td>東5</td> <td>86.6%</td> <td>84.1%</td> <td>84.9%</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>82.9%</td> <td>92.5%</td> <td>91.3%</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>60.0%</td> <td>77.8%</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>74.2%</td> <td>70.2%</td> <td>83.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>70.5%</td> <td>74.0%</td> <td>80.5%</td> </tr> </table> <p>注1) 届出病床数 206床                      注2) 東4: H26.9~地域包括ケア病棟移行                      注3) 西4: H28.3~地域包括ケア病棟移行</p> <p>【その他の指標】 単位 収益:千円,単価:円</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>52,188名</td> <td>55,812名</td> <td>60,489名</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>143名</td> <td>153名</td> <td>166名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>15.1日</td> <td>14.4日</td> <td>13.6日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,052,001</td> <td>2,067,139</td> <td>2,194,896</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>39,319</td> <td>37,038</td> <td>36,286</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>86,434名</td> <td>87,224名</td> <td>84,082名</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>354名</td> <td>359名</td> <td>346名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>973,889</td> <td>1,004,303</td> <td>967,636</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>11,267</td> <td>11,523</td> <td>11,508</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>7,553</td> <td>8,207</td> <td>9,128</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>2,209</td> <td>1,976</td> <td>1,943</td> </tr> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く                      注2) 金額は税込で表示</p> <p>2 未収金の発生防止対策等                      未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等努めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。                      発生した未収金に対しては、電話や臨宅による催告が必要に応じて実施し、分納制度を活用するな</p>				病棟	26年度	27年度	28年度	東3	51.1%	63.3%	68.3%	東4(包括ケア)	63.6%	77.1%	77.6%	東5	86.6%	84.1%	84.9%	西3(回復期)	82.9%	92.5%	91.3%	西4(包括ケア)	63.6%	60.0%	77.8%	西5	74.2%	70.2%	83.2%	全体	70.5%	74.0%	80.5%	項目	26年度	27年度	28年度	入院延患者数	52,188名	55,812名	60,489名	1日平均入院患者数	143名	153名	166名	平均在院日数	15.1日	14.4日	13.6日	入院収益	2,052,001	2,067,139	2,194,896	入院診療単価	39,319	37,038	36,286	外来延患者数	86,434名	87,224名	84,082名	1日平均外来患者数	354名	359名	346名	外来収益	973,889	1,004,303	967,636	外来診療単価	11,267	11,523	11,508	室料差額収益	7,553	8,207	9,128	受託検査収益	2,209	1,976	1,943																																																																																							
病棟	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																																							
東3	51.1%	63.3%	68.3%																																																																																																																																																																							
東4(包括ケア)	63.6%	77.1%	77.6%																																																																																																																																																																							
東5	86.6%	84.1%	84.9%																																																																																																																																																																							
西3(回復期)	82.9%	92.5%	91.3%																																																																																																																																																																							
西4(包括ケア)	63.6%	60.0%	77.8%																																																																																																																																																																							
西5	74.2%	70.2%	83.2%																																																																																																																																																																							
全体	70.5%	74.0%	80.5%																																																																																																																																																																							
項目	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																																							
入院延患者数	52,188名	55,812名	60,489名																																																																																																																																																																							
1日平均入院患者数	143名	153名	166名																																																																																																																																																																							
平均在院日数	15.1日	14.4日	13.6日																																																																																																																																																																							
入院収益	2,052,001	2,067,139	2,194,896																																																																																																																																																																							
入院診療単価	39,319	37,038	36,286																																																																																																																																																																							
外来延患者数	86,434名	87,224名	84,082名																																																																																																																																																																							
1日平均外来患者数	354名	359名	346名																																																																																																																																																																							
外来収益	973,889	1,004,303	967,636																																																																																																																																																																							
外来診療単価	11,267	11,523	11,508																																																																																																																																																																							
室料差額収益	7,553	8,207	9,128																																																																																																																																																																							
受託検査収益	2,209	1,976	1,943																																																																																																																																																																							

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																													
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																																											
<p><b>3 診療報酬改定に対応した各種施設基準への対応と取得</b></p> <p>平成28年診療報酬改定に的確に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準(要件)を維持する。</p> <p>総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率50%以上、逆紹介率70%以上</p> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>当センターが指定を受けたDPC医療機関群II群を維持するため、診療密度、複雑性指数などの各指標について、診療内容等の分析、改善に取り組む。</p>	<p>・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。</p> <p>・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</p> <p>○回収実績(年度末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額 (単位：千円)</td> <td>133,071</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> </tr> <tr> <td>回収金額 (単位：千円)</td> <td>50,930</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> </tr> <tr> <td>回収率(単位：%)</td> <td>38.3</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況(翌年度5月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>657</td> <td>60,094</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>358</td> <td>22,209</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,015</td> <td>82,303</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> </tr> </tbody> </table>		項目/年度	H26	H27	H28	委託金額 (単位：千円)	133,071	147,186	157,246	回収金額 (単位：千円)	50,930	59,950	66,898	回収率(単位：%)	38.3	40.7	42.5		H26		H27		H28		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	657	60,094	522	50,184	415	46,813	現年度分	358	22,209	319	24,854	263	30,739	合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552	<p>護必要度など詳細に分析、他院との比較を通じて病院全体及び疾患別の課題について院内各科での研修を実施し収益向上に努めた。</p> <p>・医療政策の動向等から、今後重要性が増すと想定される分野についての体制の充実などの対応を進める。</p>	<p><b>3 施設基準の取得</b></p> <p>非常勤医師の常勤化や経験年数等の資格を満たした医師の確保、医療スタッフの採用等により新たな施設基準の取得を目指す。</p> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>国の医療制度改革や診療報酬改定等については、情報収集を行い速やかに対応する。</p>	<p>どして回収に努めた。</p> <p>回収困難な案件の中で、顧問弁護士と連携して少額訴訟手続きを進めた例(2件)があり、うち1件については債権を回収することができた。</p> <p>29年度以降においても、少額訴訟の活用等により、積極的な未収金回収を推進する。</p> <p>(参考) 【未収金の発生状況と未収額】(金額：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>204件</td> <td>214件</td> <td>185件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>4,267</td> <td>7,665</td> <td>4,389</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額。</p> <p><b>3 施設基準の取得</b></p> <p>平成28年度の診療報酬改定に合わせ、入院基本料等の基準の見直し及び新設された下肢末梢動脈疾患指導管理加算の取得を行った。</p> <p>その他、以下の施設基準を届出・算定開始。</p> <p>&lt;基本&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○診療録管理体制加算1 H28.5.1取得</li> <li>○医師事務作業補助体制加算1 H28.5.1取得</li> <li>○認知症ケア加算2 H29.1.1取得</li> <li>&lt;特掲&gt;</li> <li>○CAD/CAM冠 H28.5.1取得</li> <li>○麻酔管理料1 H28.5.1取得</li> <li>○検体検査管理加算IV H29.2.1取得</li> </ul> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会へ参加するとともに、院内各部署への説明会を行った。</p>	項目	26年度	27年度	28年度	現年度件数	204件	214件	185件	未収金額	4,267	7,665	4,389
	項目/年度	H26	H27	H28																																																															
委託金額 (単位：千円)	133,071	147,186	157,246																																																																
回収金額 (単位：千円)	50,930	59,950	66,898																																																																
回収率(単位：%)	38.3	40.7	42.5																																																																
	H26		H27		H28																																																														
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																													
過年度分	657	60,094	522	50,184	415	46,813																																																													
現年度分	358	22,209	319	24,854	263	30,739																																																													
合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552																																																													
項目	26年度	27年度	28年度																																																																
現年度件数	204件	214件	185件																																																																
未収金額	4,267	7,665	4,389																																																																
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																																																														

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-3 費用の削減

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																						
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																																																																																				
<p><b>項目番号 26</b></p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に努める。</li> <li>診療材料については、他医療機関等の購入価格情報をコンサルタント等に委託し、情報収集するとともに、積極的な価格交渉を実施し、購入価格の削減に努める。</li> <li>材料費について医薬収益の30%以下を目指す。</li> </ul> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>平成26年度より導入された後発医薬品指数による後発医薬品への切り替えを選定ルールに基づき継続して実施する。</p> <p>診療に支障を来さない後発医薬品への円滑な切り替えを行うとともに、効率的・経済的な購入に努める。</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用等による費用の削減を図った。</li> <li>コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減に取り組んだ。</li> </ul> <p>○ジェネリック医薬品使用単位数実績 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>10.15</td> <td>20.86</td> <td>21.85</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ジェネリック医薬品の使用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>8.80</td> <td>16.58</td> <td>18.29</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>5.43</td> <td>7.18</td> <td>5.88</td> </tr> </tbody> </table> <p>※病院全体で使用した医薬品に対する後発医薬品の割合</p> <p>○医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>13.42</td> <td>14.65</td> <td>15.64</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>15.77</td> <td>15.71</td> <td>15.19</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>平成26年度より導入された後発医薬品指数による後発医薬品への切り替えを選定ルールに基づき継続して実施する。</p> <p>診療に支障を来さない後発医薬品への円滑な切り替えを行うとともに、効率的・経済的な購入に努める。</p>	項目/年度	H26	H27	H28	使用率	10.15	20.86	21.85	項目/年度	H26	H27	H28	品目ベース	8.80	16.58	18.29	金額ベース	5.43	7.18	5.88	項目/年度	H26	H27	H28	薬品費	13.42	14.65	15.64	診療材料費	15.77	15.71	15.19	III	<p><b>項目番号 25</b></p> <p>1 在庫管理の徹底などによる費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S P D 運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努める。</li> <li>診療材料について、同種材料の価格ベンチマーク徹底を図り、費用の節減を図る。</li> <li>「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。</li> </ul> <p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値剤を採用することによる製剤特性、医療安全性の向上を図るとともに、経済性を加味し、後発医薬品の採用により薬品費用や、診療材料費用の節減を図る。</li> </ul>	<p>1 在庫管理の徹底などによる費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期の在庫定数見直しを通じて、在庫品の削減に取り組み、診療材料の院内在庫を抑制した。また、今年度新たに導入した診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、効果的に価格交渉を行い、医薬品及び診療材料費の節減に努めた。</li> </ul> <p>【医薬収益に対する材料費比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.62</td> <td>16.10</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.12</td> <td>9.73</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位：千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,459,254</td> <td>2,619,397</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,592,602</td> <td>1,582,848</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬品費節減ならびに診療報酬上の観点から各診療科へ説明と協力を働きかけ、数量ベースで後発採用率80%以上の目標を達成した。医薬品採用については、名称誤認に配慮した医療安全面と後発医薬品の安定供給等の要素を考慮した製剤選択を行った。</li> </ul> <p>【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>69.90</td> <td>70.56</td> </tr> <tr> <td>数量ベース</td> <td>82.44</td> <td>89.55</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>35.70</td> <td>38.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用比率は後発医薬品がある中での割合</p>	区分\年度	H27	H28	薬品費	15.62	16.10	診療材料費	10.12	9.73	区分\年度	H27	H28	薬品費	2,459,254	2,619,397	診療材料費	1,592,602	1,582,848	区分\年度	H27	H28	品目ベース	69.90	70.56	数量ベース	82.44	89.55	金額ベース	35.70	38.04	III	<p><b>項目番号 24</b></p> <p>1 在庫管理の徹底等</p> <p>薬剤・診療材料及び消耗品については、現場からの提案を取り込むほか、物流管理システムによる在庫管理を徹底するとともに、新規品目採用時には、原則として類似品目を廃止することで、費用の節減を図る。</p> <p>また、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動を推進することにより、作業効率の向上や不要在庫の減少などコスト削減に努める。</p> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>有効性・安全性を考慮しつつ、先発医薬品を後発医薬品に変えるよう努める。</p> <p>3 経営意識の向上</p> <p>毎月の経営情報を院内掲示板で提供することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。また、常にコストを意識し、経費、試薬、消耗品等の節約に努める。</p> <p>4 内部牽制機能の強化</p> <p>より安価でより効率的な購入に努めるとともに、内部牽制機能を強化することで、安易な執行の抑制を図る。</p>	<p>1 在庫管理の徹底等</p> <p>医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用節減を図ったほか、より安価な物品の発掘に努め、医療現場、各委員会でそれらの採用をを諮り、積極的に類似物品の切り替えを実施した。</p> <p>その結果、医薬収益に対する材料費比率は、連続して通減している。</p> <p>【医薬収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>11.7%</td> <td>10.2%</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>診療材</td> <td>7.1%</td> <td>5.6%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>給食材</td> <td>1.0%</td> <td>1.0%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>材料全</td> <td>19.8%</td> <td>16.8%</td> <td>16.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>28年度より後発医薬品使用体制加算は、採用品目割合から使用数量ベースに変更になった。これにより、当院の後発医薬品については、採用の方針、先発薬品からの切り替えなどの検討を重ね、品目を見直していく予定。(●)</p> <p>【ジェネリック医薬品の採用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用比率</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>8.8%</td> <td>9.3%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>使用数量ベース(※)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>31.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※後発医薬品/(後発+先発医薬品)</p> <p>3 経営意識の向上</p> <p>○経営概要(業務量、収支状況)を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。</p> <p>○食材費について、食材メーカー、納入業者及び食材等の見直しを進めた結果、目標としていた1日1人当たり650円以下を達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(税込金額)</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食材費/日・人</td> <td>668円</td> <td>643円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 内部牽制機能の強化</p> <p>物品の請求の際は各部署において責任者(看護部の場合は各セクション責任者から看護部)の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。規程に基づき内部監査を実施。</p> <p>平成27年度の医事課及び経営企画課の執行内容を対象とした監査に引き続き、平成28年度は、総務課用度担当の執行内容について内部監査を実施した。</p>	項目	26年度	27年度	28年度	薬品費	11.7%	10.2%	9.8%	診療材	7.1%	5.6%	5.2%	給食材	1.0%	1.0%	1.0%	材料全	19.8%	16.8%	16.0%	採用比率	26年度	27年度	28年度	品目ベース	8.8%	9.3%	9.2%	使用数量ベース(※)	-	-	31.4%	項目(税込金額)	27年度	28年度	食材費/日・人	668円	643円	III
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																									
使用率	10.15	20.86	21.85																																																																																																									
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																									
品目ベース	8.80	16.58	18.29																																																																																																									
金額ベース	5.43	7.18	5.88																																																																																																									
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																									
薬品費	13.42	14.65	15.64																																																																																																									
診療材料費	15.77	15.71	15.19																																																																																																									
区分\年度	H27	H28																																																																																																										
薬品費	15.62	16.10																																																																																																										
診療材料費	10.12	9.73																																																																																																										
区分\年度	H27	H28																																																																																																										
薬品費	2,459,254	2,619,397																																																																																																										
診療材料費	1,592,602	1,582,848																																																																																																										
区分\年度	H27	H28																																																																																																										
品目ベース	69.90	70.56																																																																																																										
数量ベース	82.44	89.55																																																																																																										
金額ベース	35.70	38.04																																																																																																										
項目	26年度	27年度	28年度																																																																																																									
薬品費	11.7%	10.2%	9.8%																																																																																																									
診療材	7.1%	5.6%	5.2%																																																																																																									
給食材	1.0%	1.0%	1.0%																																																																																																									
材料全	19.8%	16.8%	16.0%																																																																																																									
採用比率	26年度	27年度	28年度																																																																																																									
品目ベース	8.8%	9.3%	9.2%																																																																																																									
使用数量ベース(※)	-	-	31.4%																																																																																																									
項目(税込金額)	27年度	28年度																																																																																																										
食材費/日・人	668円	643円																																																																																																										
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																																																																																																					

